

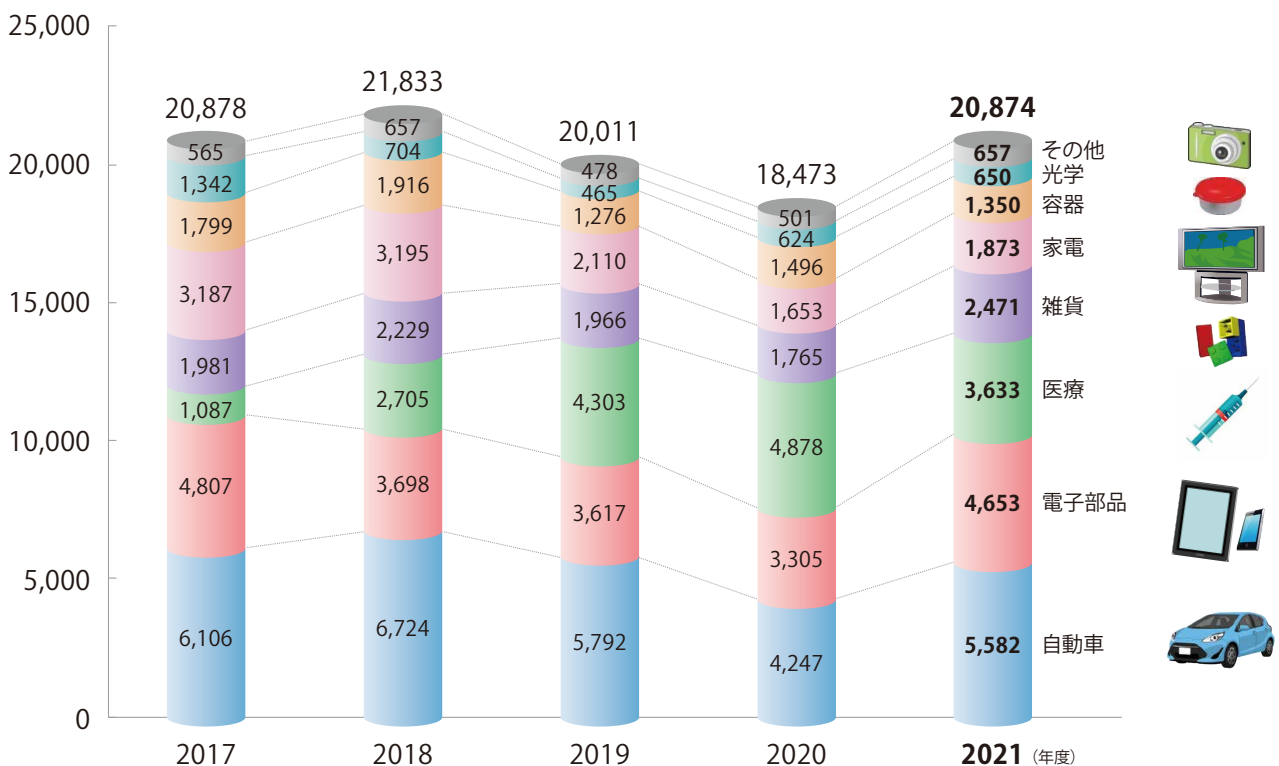
# 業種別売上高

## ◆ 幅広い業種でユーシン精機のロボットが使用されています

ユーシン精機のロボットは、プラスチック射出成形品の生産工場で活躍しています。そのためプラスチックを扱う多様な業種にビジネス展開しています。自動車業界は、部品の多くがプラスチックで代用されつつあること、EV化による更なる軽量化ニーズもあり、今後も伸びが期待できます。医療業界は、衛生面の考慮から、プラスチック製品の大量生産が行われており、ロボットの稼働スピード・正確性を強みとする当社にとっては、親和性の高い業界といえます。また、バーチャルリアリティなどを含む新しい分野でのハードウェアの伸びも期待できます。

2021年度は、自動車分野において、日本国内や北米市場向け取出口ボットの販売が堅調に推移し、比率第1位となりました。電子部品分野への販売では、中国市場を中心に主に電子デバイス向け取出口ボットの販売が伸びました。国内市場での特注機販売も売上寄与しました。昨年度に比率トップであった医療向け分野への販売は、大口の欧州向け特注機販売においてコロナ禍の影響を受け、比率を落としました。一方で中国市場などでは医療向け製品のニーズが高まっており、徐々に販売高を伸ばしてきています。また、スピード・正確性を強みとする当社ロボットによりYUSHINブランドが高く評価されつつあります。

売上高 (単位:百万円)



### 今後の成長戦略

軽量化が求められる自動車業界、衛生への要望が強い医療業界でのプラスチックニーズはこれまで以上に強くなると考えており、これらの業界は今後の事業発展のドライバーとなると見込んでいます。また、業界特有のニーズを満たした商品開発に注力してまいります。現在は多業種に展開することで、特定業界の不況などに対するリスク分散が図られていますが、今後は新たな業界(食品業界など)のニーズも取り込むことにより、より一層の販売業種の多様化を目指します。